

教科名	英語	単位数	3		担当	
科目名	英語コミュニケーションⅠ	必修 選択	必修	選択	学年	1年
教科書 副教材等	All Aboard! English Communication I Revised (東京書籍) All Aboard! English Communication I Revised BRIDGE WORKBOOK (東京書籍)					
選択対象者						
科目の 目標	<p>日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば・・・</p> <p>聞くこと：必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握する、また概要や要点を目的に応じて捉えることができる。</p> <p>読むこと：必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握する、または概要や要点を目的に応じて捉えることができる。</p> <p>話すこと（やり取り）：基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ち等を論理性に注意して話して伝え合うやり取りを続けることができる。</p> <p>話すこと（発表）：基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ち等を論理性に注意して話して伝えることができる。</p> <p>書くこと：基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ち等を論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。</p>					
身に付けさせたい資質・能力						
知識および技能	①基礎学力、②情報活用力、③傾聴力					
思考力・判断力・表現力等	④行動力、⑤コミュニケーション力、⑥キャリアプランニング力					
学びに向かう力・人間性等	⑦セルフマネジメント力、⑧協働力、⑨達成力					
1 授業内容・具体的目標	<p>外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、英語で情報や考え等を的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーション能力を図る資質・能力を総合的に育成する。具体的には、日常的话题について、英文でインタビューを行えるような英語力の獲得を目標とする。</p>					
2 授業の進め方	<p>この授業ではペアワーク等を多く行うため、メリハリを持った授業への参加を求める。また、ワークシート等を多く配付する。A4サイズのファイルを用意し、配布物を整理すること。</p>					
3 評価の規準	<p>【知識・技能】 英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働き等の理解を深めている（知識）。これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況等に応じて適切に活用できる技能を身に付けている（技能）。</p> <p>【思考・判断・表現】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、日常的话题や社会的な話題について、英語で情報や考え等の概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図等を的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p> <p>※以上3つの観点は全て均等に扱い、いずれかの観点を重視した評価は行わない。</p>					
4 評価の方法	<p>主に以下の3つの評価方法を採用する。</p> <p>①ペーパーテスト（定期考査、授業内の小テスト等）②パフォーマンステスト（＝実技テスト） ③その他授業への取組状況（プリントや家庭学習の取り組みも含む）</p>					

5 授業計画					
月	領域・単元 (時数)	学習内容 (■=学習項目(文法等) ●=言語活動の話題等)	各単元における評価	身に付けさせたい 資質・能力	
4	オリエンテーション(1)	シラバスの提示 授業のルールの確認	授業の流れ、評価の方法等を理解している。	1年間全体: ①②③⑤⑧ 以下、重点的に 身に付けさせたい 項目を記載する。	
5	クラスルーム・イングリッシュの導入(1)	授業内で行う英語での指示に慣れる	授業内で行う英語での指示を理解している。		
6	PL1 オレの名前は伊藤ネコだ(2)	■be動詞 ●be動詞を使った自己紹介	■be動詞、一般動詞の働きを理解している。 ●英語で自己紹介ができる。		①
	PL2 おれはジャンクフードが好きだ(2)	■一般動詞 ●一般動詞(be動詞以外の動詞)を使った自己紹介			
	C1 自己紹介(3)	●より詳細かつ効果的な自己紹介			
7	L1 私の朝ごはん(8)	■過去形 ●好きな食べ物	■過去形の働きを理解している。 ●好きな食べ物について述べるができる。		①
	L2 人なつっこい野生動物(8)	■進行形 ●好きな動物	■進行形の働きを理解している。 ●自分と他者が好きな動物について述べるができる。		
	L3 愛馬とともに(8)	■助動詞: can, will ●出かける予定の場所	■can, willの働きを理解している。 ●出かける予定の場所を伝えることができる。		
	C2 道案内(3)	■●道案内の場面においてよく使われる表現を学び、英語で道案内をしたり、道順を尋ねたりする	■●道案内の場面において使われる表現を理解し、英語で道案内ができる。		
8	L4 夢のような絶景(8)	■to不定詞 ●行きたい場所・おすすめの場所	■to不定詞の働きを理解している。 ●行きたい場所・おすすめの場所について英語でメールを作成できる。	② ⑤	
9	英文Eメールの書き方(2)	●ALTにメールを送る			
10	L5 博多工業高校自動車工学科(8)	■動名詞 ●将来の夢	■動名詞の働きを理解している。 ●将来の夢について述べるができる。	②	
11	R1 Short Stories in English(4)	■アクセント・発音記号等 ●抑揚・リズムをつけた音読	■発音記号・アクセントの役割を理解している。 ●抑揚・リズムをつけて音読できる。		
12	L6 奇想天外な浮世絵師(8)	■受け身 ●好きな芸術作品	■受け身の働きを理解している。 ●好きな芸術作品について述べるができる。	② ③	
	L7 アンネ・フランク(8)	■比較表現 ●関心のある人物	■比較表現の働きを理解している。 ●関心のある人物について述べるができる。		
	L8 ロボットカフェ(8)	■現在完了形 ●人の生活を豊かにするロボット	■現在完了形の働きを理解している。 ●人の生活を豊かにするロボットについて英語で提案できる。		
1	C3 乗り換え案内(3)	■●電車の乗り換え案内の場面においてよく使われる表現を学び、英語で尋ねたり案内したりする	■●電車の乗り換え案内の場面においてよく使われる表現を学び、英語で尋ねたり案内したりできる。	⑤	
2	L9 海にひそむゴースト(8)	■名詞を後ろから説明する分詞 ●地域の環境問題	■名詞を後ろから説明する分詞の働きを理解している。 ●環境を守るためにできることを発表できる。		
3	L10 海の向こうからの贈り物(8)	■関係代名詞 ●海外の文化や社会に対する理解を深める活動	■関係代名詞の働きを理解している。 ●海外の文化や社会に対する理解を深める活動について、英語で述べるができる。	② ⑤	
	パフォーマンステスト(4)	●放課後の過ごし方	■インタビューをする際の表現を理解している。 ●放課後の過ごし方についてインタビューができる。		⑧

時数合計 (105)

教科名	英語	単位数	4		担当	
科目名	英語コミュニケーションⅡ	必修 選択	必修	選択	学年	2年
教科書 副教材等	All Aboard! English Communication II (東京書籍) Vision Quest New English Grammar 24 For 4th Edition・Ultimate 3rd (啓林館)					
選択対象者						
科目の 目標	<p>日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば・・・</p> <p>聞くこと：必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握する、また概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。</p> <p>読むこと：必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握する、または概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。</p> <p>話すこと（やり取り）：多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ち等を論理性に注意して、詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができる。</p> <p>話すこと（発表）：多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ち等を論理性に注意して、詳しく話して伝えることができる。</p> <p>書くこと：多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ち等を論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができる。</p>					
身に付けさせたい資質・能力						
知識および技能	①基礎学力、②情報活用力、③傾聴力					
思考力・判断力・表現力等	④行動力、⑤コミュニケーション力、⑥キャリアプランニング力					
学びに向かう力・人間性等	⑦セルフマネジメント力、⑧協働力、⑨達成力					
1 授業内容・具体的目標						
外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、英語で情報や考え等を的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーション能力を図る資質・能力を総合的に育成する。具体的には、与えられた話題についてのディベートができるような英語力の獲得を目標とする。						
2 授業の進め方						
この授業ではペアワーク等を多く行うため、メリハリを持った授業への参加を求める。また、ワークシート等を多く配付する。A4サイズのファイルを用意し、配布物を整理すること。						
3 評価の規準						
【知識・技能】						
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働き等の理解を深める（知識）。これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況等に応じて適切に活用できる技能を身に付けている（技能）。						
【思考・判断・表現】						
コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考え等の概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図等を的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。						
【主体的に学習に取り組む態度】						
外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。						
※以上3つの観点は全て均等に扱い、いずれかの観点を重視した評価は行わない。						
4 評価の方法						
主に以下の3つの評価方法を採用する。						
①ペーパーテスト（定期考査、授業内の小テスト等）②パフォーマンステスト（＝実技テスト）						
③その他授業への取組状況（プリントや家庭学習の取り組みも含む）						

5 授業計画				
月	領域・単元 (時数)	学習内容 (■=学習項目(文法等) ●=アウトプット活動)	各単元における評価	身に付けさせたい 資質・能力
4 / 5 / 6	オリエンテーション (1)	シラバスの提示 授業のグランドルールの確認	授業の進め方や評価基準を理解している。	1年間全体： ①②③⑤⑧ 以下、重点的に 身に付けさせたい 項目を示す。
	Pre-Lesson: 今年や ってみたいこと (2)	●自分が今年やってみたいこ と	●自分が今年やってみたいことを述 べることができる。	①
	L1: プラーノ島 (12)	■関係代名詞: what ●海外で行ってみたい場所	■関係代名詞の働きを理解してい る。 ●海外で行ってみたい場所について 述べるができる。	⑤
	Let's Listen 1: ホ テルにチェックイン Communication 1: 病 院で診察(2)	■ホテルのチェックイン時の 表現 ●病院で診察を受ける	■ホテルのチェックイン時の表現を 理解している。 ●病院で診察を受ける流れを理解し ている。	⑧
	L2: サムのリクエ スト(12)	■比較表現: more, the most ●世代を超えて人気のある人 物	■比較表現: more, the mostの働き を理解している。 ●世代を超えて人気のある人物につ いて述べるができる。	⑤
7 / 8 / 9	L3: ワイルドマンの 世界(12)	■itの用法 (It is ... for ~ to V等) ●身近な行事	■itの用法 (It is ... for ~ to V 等)を理解している。 ●身近な行事について述べるこ とができる。	②
	Let's Listen 2: 世 界自然遺産 Extra Target 1: 現 在完了進行形(3)	■世界自然遺産について述 べる表現 ■現在完了進行形	■世界自然遺産について述べる表 現を理解している。 ■「ずっとVし続けています」とい う状況を説明できる。	②
	L4: ハチドリのしず く(12)	■間接疑問文 ●自分の好きな物語	■間接疑問文の働きを理解してい る。 ●自分の好きな物語について説明 できる。	③
	L5: 歌舞伎メイクの 物語(12)	■to不定詞を含む表現 ●日本の伝統文化	■to不定詞を含む表現の働きを理 解している。 ●日本の伝統文化について述べる ことができる。	② ③
	Reading 1: Mujina (4)	東京が江戸と呼ばれていた頃 の話を読む	発音記号・アクセントについて理 解している。	①
10 / 11 / 12	L6: 伝統野菜を未来 につなぐ(12)	■「~かどうか、だろうか」 のif ●地元で有名な場所やもの	■「~かどうか、だろうか」のifの 働きを理解している。 ●地元で有名な場所やものにつ いて述べるができる。	② ⑤ ⑧
	L7: アートで世界を つなぐ(12)	■関係副詞: where, when ●世界の人々と交流する方法	■関係副詞: where, whenの働きを 理解している。 ●世界の人々と交流する方法につ いて述べるができる。	② ③ ⑤
	Communication 2: 入 国審査(3)	■入国審査で使用する表現 ●入国審査の質問への返答	■●入国審査で使用する表現を理 解し、質問への返答ができる。	③ ⑧
1 / 2 / 3	L8: 自然のデザイン に学ぶ(12)	■知覚動詞 ●自然界のデザインをヒント にした製品	■知覚動詞の働きを理解している。 ●自然界のデザインをヒントにし た製品について説明できる。	② ⑤
	L9: 甘いチョコレ ートの辛い現実(12)	■使役動詞 (make, let, have等) ●社会的な問題	■使役動詞の働きを理解している。 ●社会的な問題について述べるこ とができる。	② ③ ⑤
	エッセイライティ ング Extra Target 2: 仮 定法過去(2)	●社会的な話題についてエッ セイを書く ■仮定法過去	●社会的な話題についてエッセイ を書くことができる。 ■「~ならいいのに…」という気持 ちを表現できる。	②
	L10: ナイチンゲール (12)	■分詞構文 (Vしながら、V すると) ●人を助ける職業	■分詞構文の働きを理解している。 ●人を助ける職業について述べる ことができる。	② ⑤
	ディベート(3)	●身近なテーマでのディベ ート	●論点に沿って意見を述べたり、相 手に反論をしたりしている。	⑤ ⑧

時数合計 (140)

教科名	英語	単位数	4		担当	
科目名	英語コミュニケーションⅢ	必修 選択	必修	選択	学年	3年
教科書 副教材等	All Aboard! English Communication Ⅲ (東京書籍) Vision Quest New English Grammar 24 For 3rd Edition・Ultimate 2nd (啓林館) Vision Quest New English Grammar 24 WORKBOOK (啓林館)					
選択対象者	理数コース、人文コース					
科目の 目標	<p>日常的・社会的な話題について、支援をほとんど活用しなくても・・・</p> <p>聞くこと：必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握する、また概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。</p> <p>読むこと：必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握する、また概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。</p> <p>話すこと（やり取り）：多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ち等を論理性に注意して、課題の解決策等を詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができる。</p> <p>話すこと（発表）：多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ち等を目的や場面、状況等に応じて適切に用いて、課題の解決策等を論理的に詳しく話して伝えることができる。</p> <p>書くこと：多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ち等を複数の段落から成る文章で論理的に書いて伝えることができる。</p>					
身に付けさせたい資質・能力						
知識および技能	①基礎学力、②情報活用力、③傾聴力					
思考力・判断力・表現力等	④行動力、⑤コミュニケーション力、⑥キャリアプランニング力					
学びに向かう力・人間性等	⑦セルフマネジメント力、⑧協働力、⑨達成力					
1 授業内容・具体的目標						
外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、英語で情報や考え等を的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーション能力を図る資質・能力を総合的に育成する。具体的には、社会的な話題についてのディスカッションを行い、考えを深められるような英語力の獲得を目標とする。						
2 授業の進め方						
この授業ではペアワーク等を多く行うため、メリハリを持った授業への参加を求める。また、ワークシート等を多く配付する。A4サイズのファイルを用意し、配布物を整理すること。						
3 評価の規準						
【知識・技能】						
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働き等の理解を深める（知識）。これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況等に応じて適切に活用できる技能を身に付けている（技能）。						
【思考・判断・表現】						
コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考え等の概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図等を的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。						
【主体的に学習に取り組む態度】						
外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。						
※以上3つの観点は全て均等に扱い、いずれかの観点を重視した評価は行わない。						
4 評価の方法						
主に以下の3つの評価方法を採用する。						
①ペーパーテスト（定期考査、授業内の小テスト等）②パフォーマンステスト（=実技テスト）						
③その他授業への取組状況（プリントや家庭学習の取り組みも含む）						

5 授業計画				
月	領域・単元 (時数)	学習内容 (■=学習項目(文法等) ●=アウトプット活動)	各単元における評価	身に付けさせたい 資質・能力
4 / 5 / 6	オリエンテーション (1)	シラバスの提示 授業のグランドルールの 確認	授業の進め方、評価基準を理解し ている。	1年間全体： ①②③⑤⑧ 以下、重点的に 身に付けさせたい 項目を示す。
	Lesson 1： Gifts to Barcelona (10)	■to不定詞、動名詞 ●建築物について英語で紹介 する。	■to不定詞、動名詞の働きを理解し ている。 ●建築物について英語で紹介でき る。	② ⑤
	Lesson 2： Akkamui (10)	■現在完了形 ●生き物の特徴について、 英語で説明する。	■現在完了形の働きを理解してい る。 ●生き物の特徴について、英語で説 明できる。	② ⑤
	Lesson 3： Your True Colors (10)	■使役動詞 ●ファッションの意味につ いて、英語でやりとりをす る。	■使役動詞の働きを理解している。 ●ファッションについて、英語でデ ィスカッションができる。	③ ⑤
7 / 8 / 9	Lesson 4： Our Future Food? (11)	■受け身 ●食糧問題について、英語 でミニディベートをする。	■受け身の働きを理解している。 ●食糧問題について、英語でミニデ ィベートができる。	③ ⑤
	Lesson 5： Madagascar (11)	■関係代名詞 ●地域の自然について、英 語でプレゼンテーションを する。	■関係代名詞の働きを理解してい る。 ●地域の自然について、英語でプレ ゼンテーションができる。	② ⑤
	Reading 1： The Fun They Had (4)	各場面の状況と登場人物の 心情を読み取る。	■やや複雑な構造の物語を音読でき る。	⑧
	Lesson 6： The Mystery of the Terracotta Warriors (11)	■関係代名詞(コンマ有) ●訪れてみたい史跡につ いて、英語でまとまりのある 文章を書く。	■関係代名詞(コンマ有)の働きを理 解している。 ●訪れてみたい史跡について、英語 でまとまりのある文章を書くことが できる。	② ⑤
10 / 11 / 12	Lesson 7： Green Challenges (11)	■比較表現 ●再生可能エネルギーにつ いて、国や地域を比較して 英語でプレゼンテーション をする。	■比較表現の働きを理解している。 ●再生可能エネルギーについて、国 や地域を比較して英語でプレゼンテ ーションができる。	② ⑤
	Lesson 8： Witnesses of War (11)	■名詞を後ろから説明する 分詞 ●経験したことや考えたこ とについて、英語でエッセ ィを書く。	■名詞を後ろから説明する分詞の働 きを理解している。 ●経験したことや考えたことにつ いて、英語でエッセィを書くことが できる。	② ③ ⑤
	Lesson 9： The Wonders of Lightning (11)	■仮定法過去 ●電気の有効活用につ いて、英語でミニディベート をする。	■仮定法過去の働きを理解してい る。 ●電気の有効活用について、英語で ミニディベートができる。	③ ⑤
1 / 2	Extra Target 1： 過 去完了形 / 過去完了 進行形 Extra Target 2： 無 生物主語 (1)	■過去完了形、過去完了進 行形	■過去のある場面の状況を詳細に説 明できる。	⑤ ⑧
	Lesson10： Katherine's Long Journey (11)	■関係代名詞 whose ●社会に影響を与えた人物 について、英語でエッセィ を書く。	■関係代名詞 whoseの働きを理解し ている。 ●社会に影響を与えた人物につ いて、英語でエッセィを書くことが できる。	② ⑤
	Reading 2： Table for Two (4)	各場面の状況や登場人物の 心情を読み取る。	各場面の状況や登場人物の心情を 考えたり想像したりしながら音読 できる。	③
	ディスカッション (3)	●社会的話題に関するデ ィスカッションをする。	客観性のある論拠をもって、他者 の視点を取り入れながら議論を深め ることができる。	⑤ ⑧

教科名	英語	単位数	2		担 当	
科目名	論理・表現Ⅱ	必修 選択	必修	選択	学 年	3年
教科書 副教材等	MY WAY Logic and Expression Ⅱ (三省堂) MY WAY Logic and Expression Ⅱ ワークブック (三省堂)					
選択対象者	理数コース、人文コース					
科目の 目 標	<p>日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば・・・</p> <p>話すこと（やり取り）：多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うやり取りできる。</p> <p>話すこと（発表）：多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。</p> <p>書くこと：多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。</p>					
身に付けさせたい資質・能力						
知識および技能	①基礎学力、②情報活用力、③傾聴力					
思考力・判断力・表現力等	④行動力、⑤コミュニケーション力、⑥キャリアプランニング力					
学びに向かう力・人間性等	⑦セルフマネジメント力、⑧協働力、⑨達成力					
1 授業内容・具体的目標	<p>外国語による話すこと、書くことの言語活動を通して、英語で情報や考えなどを適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーション能力を図る資質・能力を育成する。具体的には、社会的な話題についてのディスカッションを行い、考えを深められるような英語力の獲得を目標とする。</p>					
2 授業の進め方	<p>この授業ではペアワーク等を多く行うため、メリハリを持った授業への参加を求める。</p> <p>(1) この科目では「話すこと」、「書くこと」を重点的に育成する科目である。これまで学習し、身に付けてきた英語力をさらに伸ばすことが目的となるので、必ずこれまでの復習を大事にすること。</p> <p>(2) 特に「話すこと」については、テーマに応じて即興で話す活動だけでなく、スピーチ、ディベート、プレゼンテーション、ディスカッションといった論理性を要する言語活動が多くなる。知識や表現の能力だけでなく、取り組みへの積極性も評価されるので、恥ずかしがらずにコミュニケーションを図る努力をすること。</p>					
3 評価の規準	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。【知識・技能】 ・英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。【知識・技能】 ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。【思考・判断・表現】 ・英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】 <p>※以上3つの観点は全て均等に扱い、いずれかの観点を重視した評価は行わない。</p>					
4 評価の方法	<p>主に以下の3つの評価方法を採用する。</p> <p>①ペーパーテスト（定期考査、授業内の小テスト等）②パフォーマンステスト（=実技テスト） ③その他授業への取組状況（プリントや家庭学習の取り組みも含む）</p>					

5 授業計画				
月	領域・単元 (時数)	学習内容	各単元における評価	身に付けさせたい 資質・能力
4 / 5 / 6	○オリエンテーション (1)	シラバスの提示 授業のルールの確認	グランドルールの確認、他の選択 科目 (英語コミュニケーションⅢ) との関係について	1年間全体： ①②③⑤⑧ 以下、重点的に 身に付けさせたい 項目を示す。
	○時制に関わる表現 ●Lesson 1 (5)	【書くこと/やりとり】 ・現在完了 ・過去完了 ・未来を表す表現	これまでの経験や好きな場所につ いて、情報や自分の考え、気持ちな どを伝え合ったり書いたりできる。	② ⑤
	○助動詞を使った表 現 ●Lesson 2 (5)	【やりとり/発表】 ・助動詞表現 ・used to ・should ・助動詞+have+過去分詞 ・Be動詞+不定詞	週末の予定や最新のものなどにつ いて、情報や自分の考え、気持ちな どを伝え合ったり、話して紹介した りすることができる。	② ⑤
	○受動態を使った表 現 ●Lesson 3 Part 1 (2)	【やりとり】 ・受動態	印象深かった授業について、情報 や自分の考え、気持ちなどを伝え合 うことができる。	⑤
7 / 8 / 9	○準動詞を使った表 現 ●Lesson 3 Part 2 ●Lesson 4 ●Lesson 5 (10)	【書くこと/やりとり/発 表】 ・不定詞 ・使役動詞 ・知覚動詞 ・動名詞 ・分詞	贈り物、日本の文化、いろいろな 科学技術や将来の社会状況と職業に ついて、情報や自分の考え、気持ち などを書いたり、伝え合ったり、話 して紹介したりすることができる。	② ⑤
	○比較表現 ●Lesson 6 (4)	【やりとり/発表】 ・比較級 ・最上級 ・同等比較 ・倍数表現 ・比較の強調	物の大きさや、有名な場所につい て、情報や自分の考え、気持ちなど を伝え合ったり、話して紹介したり することができる。	⑤ ⑧
10 / 11	○ロールプレイ ●Lesson 6 SA (1)	【やりとり】 ・ホテルでのトラブル解決 のロールプレイ	ホテルでのトラブルについて、情 報や自分の考え、気持ちなどを伝え 合うことができる。	⑤
	○関係詞を使った表現・ ディスカッション ●Lesson 7 ●Basic skills 3 (8)	【やりとり/発表】 ・関係代名詞 ・関係副詞 ・ディスカッション	火星に関することについて、情報 や自分の考え、気持ちなどを書いた り、伝え合ったり、話して紹介した りすることができる。 無人島に持って行く物についてデ ィスカッションをすることができる。	② ⑤
	○仮定法を使った表現 ●Lesson 8 ●Basic skills 4 (8)	【やりとり/発表】 ・仮定法 ・ディベート	外国に関することや、「もし ～、」というテーマについて、情報 や自分の考え、気持ちなどを伝え合 ったり、話して紹介したりできる。 日常的な話題や社会的な話題につ いてディベートを行うことができる。	⑤ ⑧
12 / 1	○否定の表現、代名詞を 使った表現 ●Lesson 9 (5)	【書くこと/やりとり】 ・否定 ・代名詞	悩み事や社会問題について、情報 や自分の考え、気持ちなどを書いた り、伝え合ったりできる。	⑧
	○無生物主語を使った表 現 ●Lesson 10 ●Basic skills 2 (7)	【やりとり/発表】 ・無生物主語構文 ・thatを使った表現 ・プレゼンテーション	調べ学習で調べたことや自分の関 心のある人物について、情報や自 分の考え、気持ちなどを伝え合っ たり、話して紹介したりすることが できる。	⑧

時数合計 (70)